

第 30 回荒川区区政世論調査
(概要)

第 30 回荒川区政世論調査 (概要)

調 査 方 法

【対象】区内に居住する満 20 歳以上の男女 900 人を無作為抽出
 【調査方法】調査員による個別面談聴取方式
 【調査期間】平成 17 年 7 月 28 日～8 月 17 日
 【回収数 (率)】742 (82.4%)

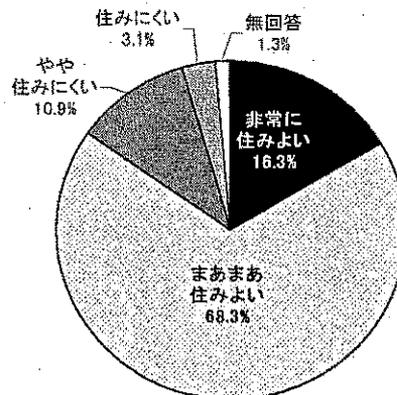
概 要

今回の世論調査では、「居住と生活環境」「安心・安全のまちづくり」「地球環境にやさしいまちづくり」「公園・緑」「犬・猫の飼い方」「新しいサービスの認知状況」「区政への関心と要望」の 7 項目をテーマに調査を実施

(1) 居住と生活環境

『現在の荒川区を住みよいと思いますか』

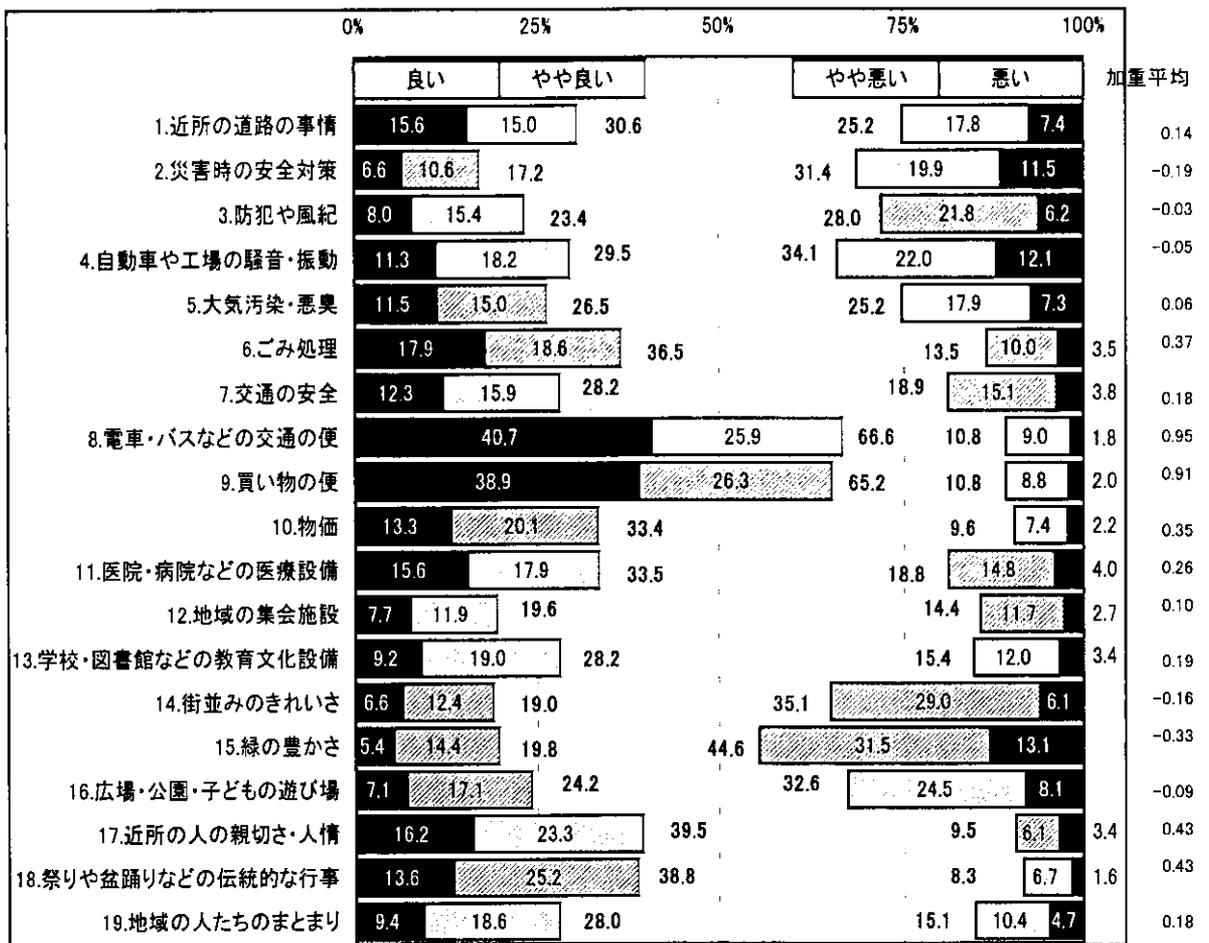
・「非常に住みよい」(16.3%)、「まあまあ住みよい」(68.3%)を合わせた肯定的評価が 8 割を超える。(84.6%)



『(生活環境評価) お住まいの周辺環境について、率直な印象をそれぞれお聞かせください。』

- ・「良い」と「やや良い」を合わせた肯定的評価が 5 割を超えたのは、「電車・バスなどの交通の便」(66.6%)、「買い物の便」(65.2%)の 2 項目である。
- ・逆に、肯定的意見が 2 割を下回ったのは、「災害時の安全対策」(17.2%)、「街並みのきれいさ」(19.0%)、「地域の集会施設」(19.6%)、「緑の豊かさ」(19.8%)の 4 項目である。

■生活環境評価



(2) 安心・安全のまちづくり

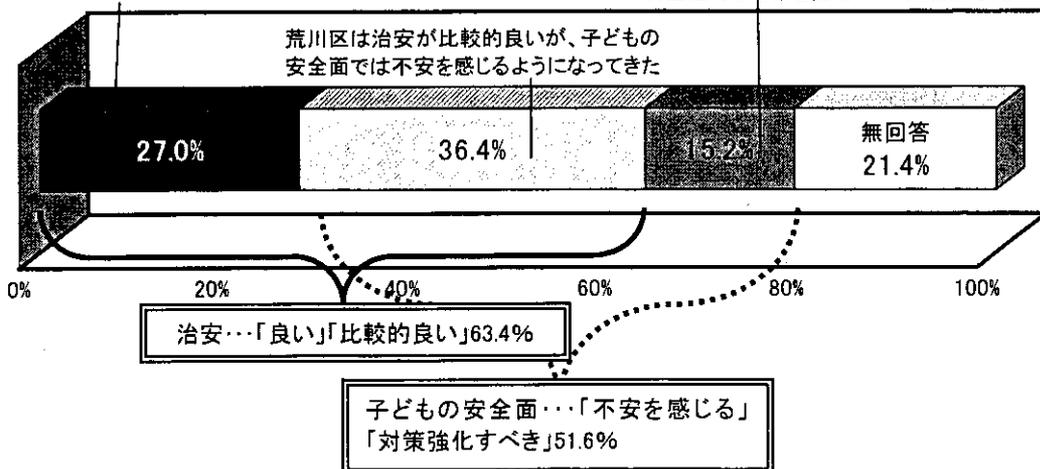
【子どもの安全対策（防犯対策）について】

『荒川区の治安や子どもの安全面についてどう思いますか』

・治安については、「良い (27.0%)」「比較的良い (36.4%)」を合わせて63.4%である。一方で、子どもの安全面については、「不安を感じる (36.4%)」「対策を強化すべき状況にある (15.2%)」を合わせると51.6%と5割を超える。

荒川区は治安が良く、子どもの安全面でも特に危険な状況にあるとは思わない

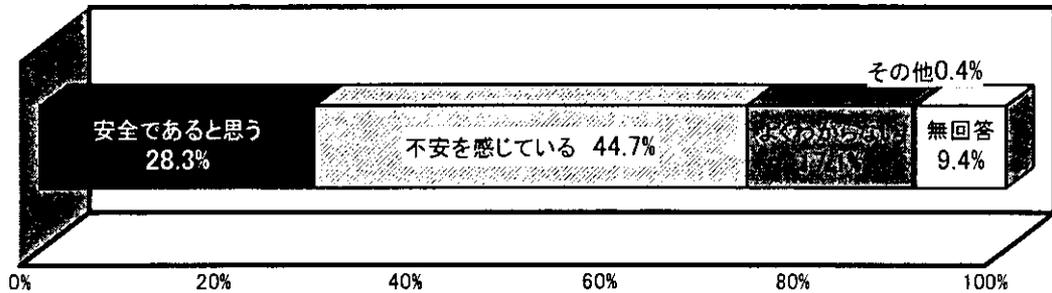
荒川区の治安は悪化しており、子どもの安全面でも対策を強化すべき状況にある



【防災まちづくりについて】

『建物の耐震性についてお聞かせください』

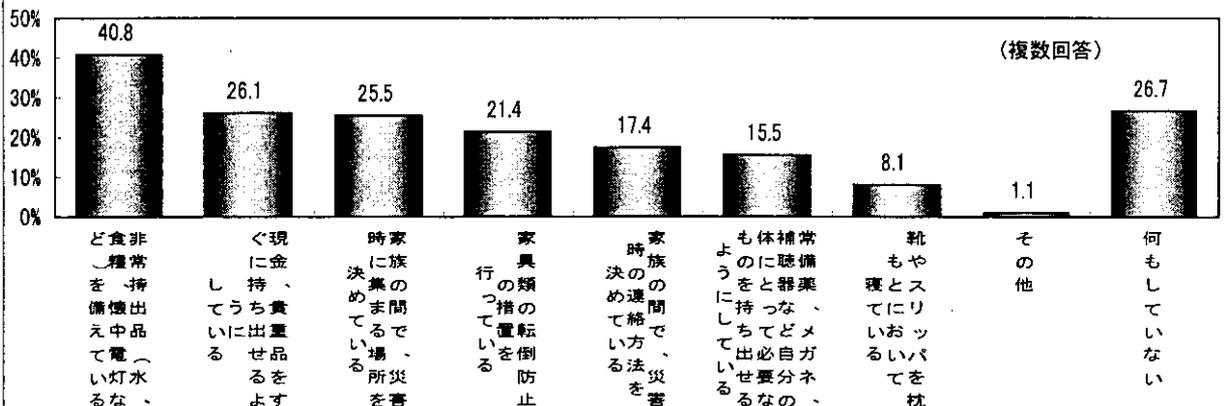
・現在居住している建物の耐震性について尋ねたところ、「安全であると思う」が28.3%に対し、「不安を感じている」が44.7%となっている。



【災害時に備えた家庭での取組みについて】

『災害に備えてご自身やご家庭で取り組まれていることは何ですか』

・「非常持出品（水、食糧、懐中電灯など）を備えている」との回答が40.8%と最も多いが、「何もしていない」も26.7%と多い。

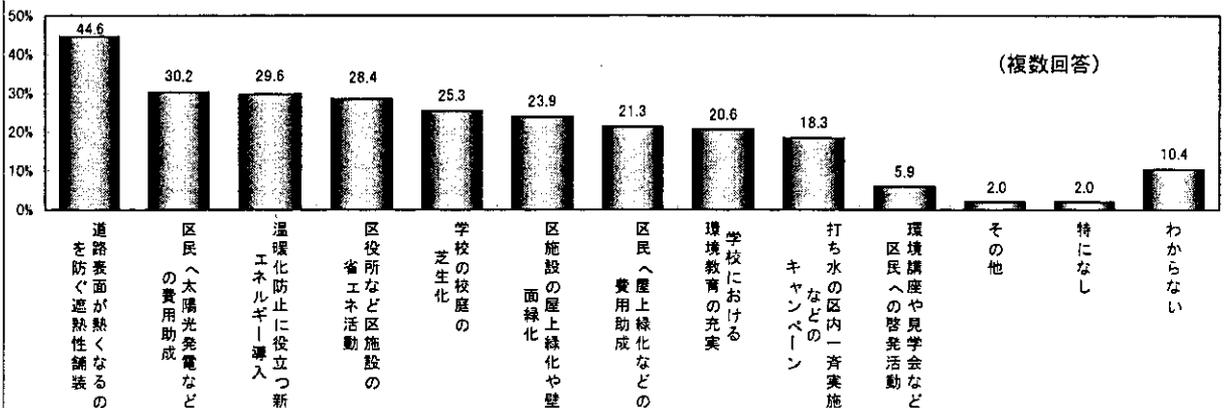


(3) 地球環境にやさしいまちづくり

【環境問題について】

『地球の温暖化やヒートアイランド現象の対策として、区がどのような事業を充実・拡大していくのがよいと考えますか。』

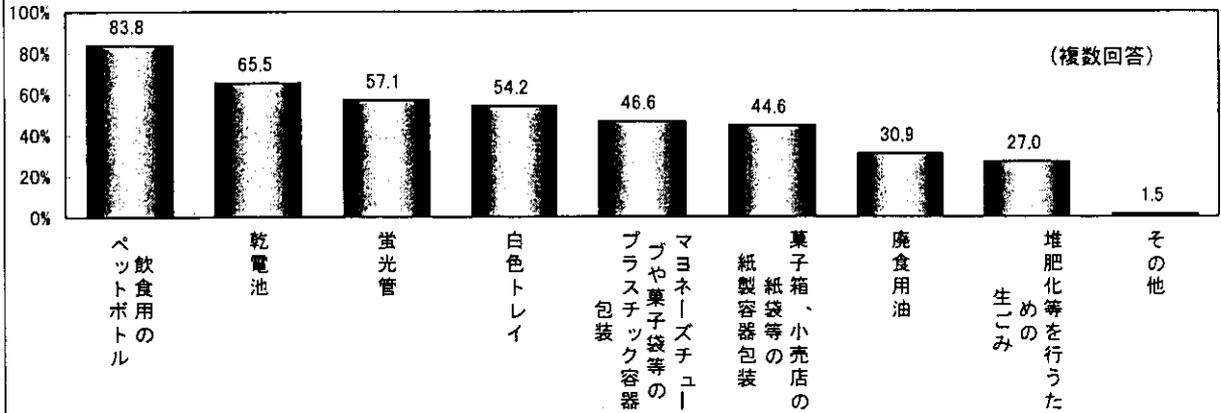
・「道路表面が熱くなるのを防ぐ遮熱性舗装」との回答が44.6%と最も多い。



【今後の清掃・リサイクル事業について】

『資源として回収するとしたら、あなたが、きちんと分別して出すことができると思うものは何ですか』

・「飲食用のペットボトル」が8割を超える。

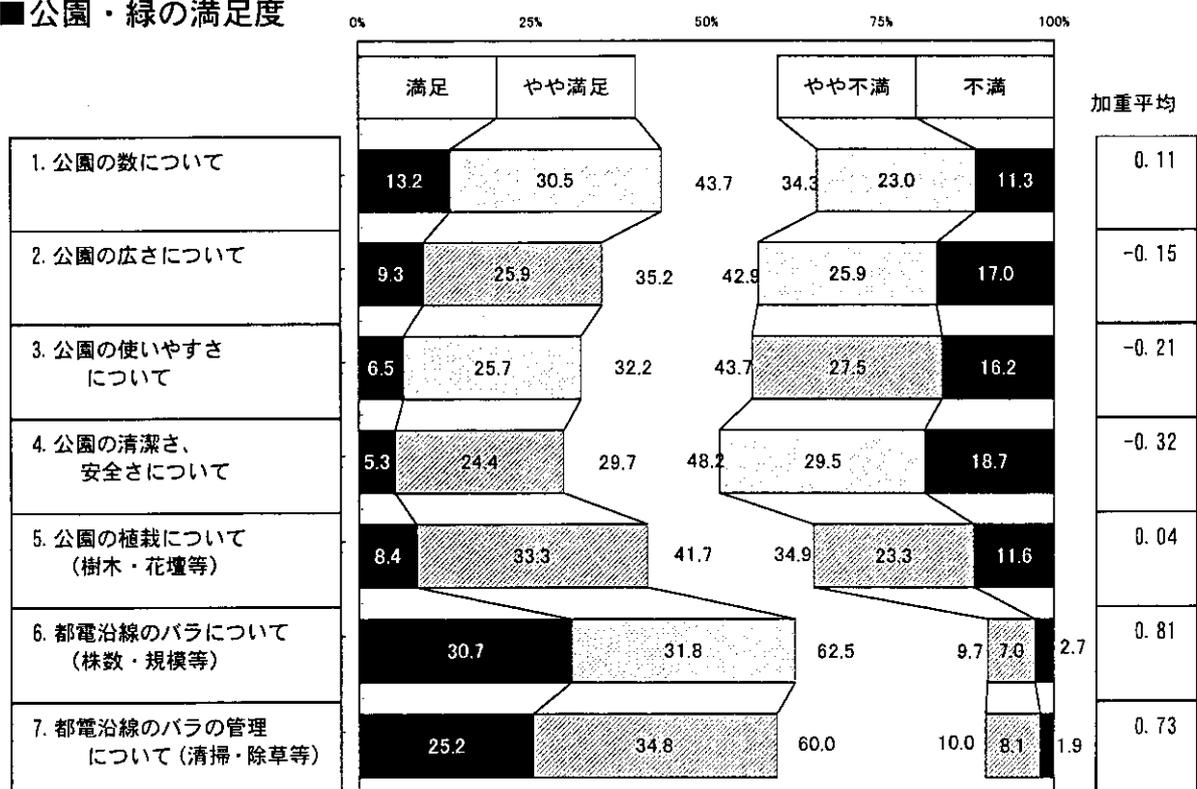


(4) 公園・緑

『公園・緑に関する施策について、それぞれの程度満足していらっしゃいますか』

・「満足」と「やや満足」を合わせた肯定的評価が、「不満」と「やや不満」を合わせた否定的評価を上回っているのは、「都電沿線のバラについて(株数・規模等)(62.5%)」、「都電沿線のバラの管理について(清掃・除草等)(60.0%)」、「公園の数について(43.7%)」、「公園の植栽について(樹木・花壇等)(41.7%)」の4項目である。

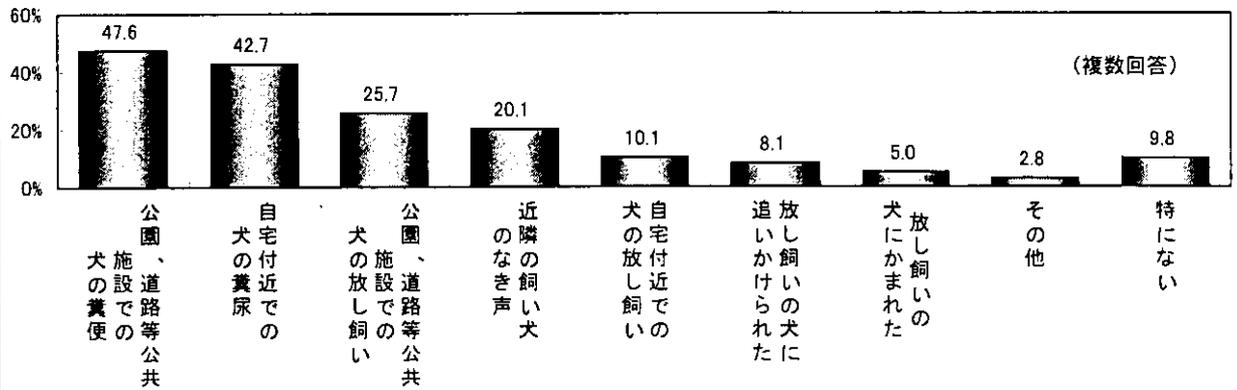
■公園・緑の満足度



(5) 犬・猫の飼い方

『飼い犬による被害や迷惑等についてお聞かせください』

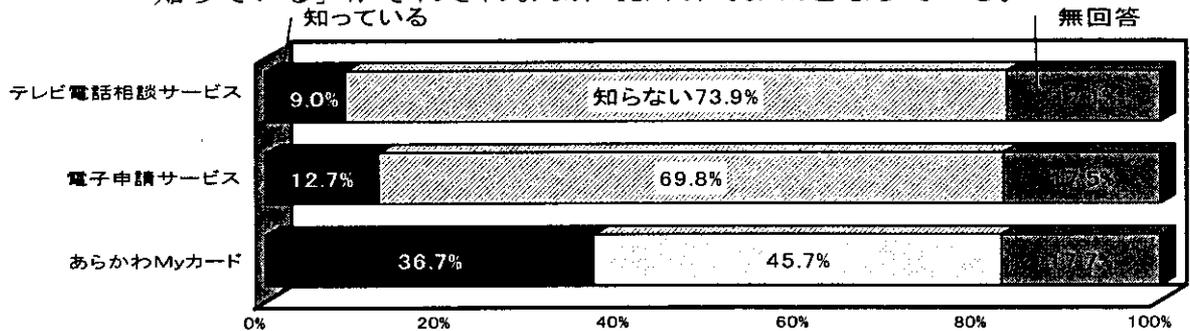
・「公園、道路等公共施設での犬の糞便」との回答が47.6%と最も多い。



(6) 新しいサービスの認知状況

『テレビ電話相談サービス、電子申請サービス、住民基本台帳カード（あらかわMyカード）をご存知ですか』

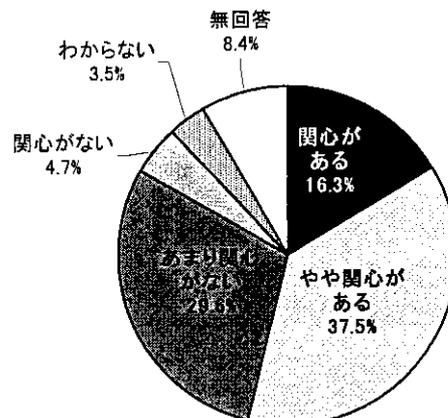
・「知っている」がそれぞれ9.0%、12.7%、36.7%となっている。



(7) 区政への関心と要望

『あなたは、区政にどの程度関心がありますか』

・「関心がある」が16.3%で、これに「やや関心がある(37.5%)」を合わせた「関心派」は53.8%で、「あまり関心がない(29.6%)」と「関心がない(4.7%)」を合わせた「無関心派」は34.3%となっている。

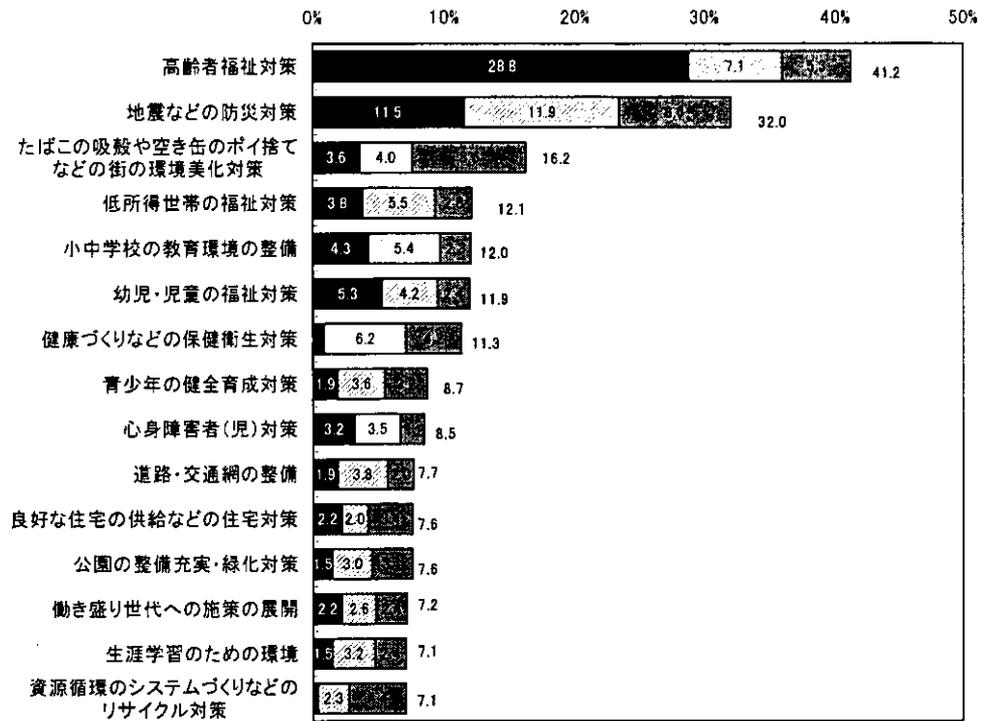


『荒川区の事業のうち、今後特に力を入れてほしいと思うものを、第1位から第3位まで選んでください』

・第1位から第3位までを合算すると、「高齢者福祉対策」(41.2%)が最も多く、次いで「地震などの防災対策」(32.0%)、「たばこの吸殻や空き缶のポイ捨てなどの街の環境美化対策」(16.2%)である。

■上位15項目（第1位～第3位合算）

■第1位 □第2位 ▨第3位



■過年度比較（上位7位の推移）

	第1位 (%)	第2位 (%)	第3位 (%)	第4位 (%)	第5位 (%)	第6位 (%)	第7位 (%)
平成17年	高齢者福祉対策	地震などの防災対策	街の環境美化対策	低所得世帯の福祉対策	小中学校の教育環境の整備	幼児・児童の福祉対策	健康づくりなどの保健衛生対策
16年	高齢者福祉対策	地震などの防災対策	街の環境美化対策	公園の整備充実・緑化対策	道路・交通網の整備	青少年の健全育成対策	小中学校の教育環境の整備
15年	高齢者福祉対策	地震などの防災対策	街の環境美化対策	低所得世帯の福祉対策	青少年の健全育成対策	道路・交通網の整備	健康づくりなどの保健衛生対策
14年	高齢者福祉対策	健康づくりなどの保健衛生対策	公園の整備充実・緑化対策	街の環境美化対策	地震などの防災対策	道路・交通網の整備	低所得世帯の福祉対策／教育環境の整備
12年	高齢者福祉対策	地震などの防災対策	健康づくりなどの保健衛生対策／低所得世帯の福祉対策		幼児・児童の福祉対策／生涯学習のための環境		働き盛り世代への施策の展開
10年	高齢者福祉対策	地震などの防災対策	良好な住宅の供給などの住宅対策	街の環境美化対策	低所得世帯の福祉対策	健康づくりなどの保健衛生対策	道路・交通網の整備
9年	高齢者福祉対策	地震などの防災対策	良好な住宅の供給などの住宅対策	健康づくりなどの保健衛生対策	街の環境美化対策	青少年の健全育成対策	低所得世帯の福祉対策

* 数値は、第1位から第3位までの合算。「高齢者福祉対策」は、平成元年から連続して第1位となっている。